

平成28年第1回市議会定例会報

平成28年5月1日発行

編集・発行 加古川市議会事務局
加古川市加古川町北在家2000
TEL 079-427-9303

かこがわ 議会だより



ちびっこ忍者

ただいま修行中!



3月29日東加古川公民館で、春休み子どもお楽しみ会～にんにん道場～が開催されました。

30名の参加者は、大縄跳びや手裏剣作り、風船チャンバラなどの修行に挑戦し、修行終了後に頭領から「忍者認定証」を受け取りました。

目次	新年度予算常任委員会質疑… 2	一般質問…………… 6
	新年度予算会派態度表明… 3	本会議の概要
	代表質問…………… 4	(議決・請願ほか)… 9

平成28年度各会計予算1,736億1,714万円を可決

平成28年第1回市議会定例会は、2月26日から3月25日まで、29日間の日程で開催されました。

平成28年度一般会計予算837億8,000万円

をはじめ、条例の制定など62件の市長提出議案について審議され、すべて原案のとおり可決、承認、推せんされました。

市議会の傍聴や議場の見学をしませんか

本会議の傍聴



本会議傍聴者用の入り口です。議会棟の外階段を上がってください。



傍聴受付で傍聴人受付簿に住所と氏名を記入してください。



本会議場には77席(うち車いす用5席)の傍聴席があり、先着順での受付となります。

市議会は市民の生活に直接かわりのある条例や予算等の重要な事項を決定したり、市長等の執行機関の仕事が適正に行われているかを監視するなど、大切な役割を担い、さまざまなことを話し合っています。

この市議会の様子を傍聴することや、議場を見学することができます。

傍聴

※小学生以下の児童、乳幼児も傍聴席への入場が可能になりました。

- ・本会議や委員会を傍聴することができます。
- ・傍聴の際には、当日、受付で住所と氏名を記入してください。
- ・議場の傍聴席は77席(車いす席5席含む)、委員会室は15席でいずれも先着順です。

議場見学

- ・本会議が開かれていないときに、議場を見学できます。
- ・見学時間は、午前8時30分から午後5時15分までです。(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く。)
- ・申し込み人数は、おおむね10名以上をお願いします。
- ・議場見学は予約制です。ご希望の方は、事前に議会事務局までご連絡ください。

次の定例会は6月10日から開催する予定です

- 6月10日(金) 全議案上程(質疑・委員会付託)
一般質問
- 6月13日(月) 一般質問
- 6月14日(火) 総務教育常任委員会
- 6月15日(水) 福祉環境常任委員会 ※午後1時15分開催予定
- 6月16日(木) 建設経済常任委員会
- 6月22日(水) 委員会審査報告(質疑・討論・採決)
追加議案上程(即決)

※本会議と委員会は、いずれも午前9時30分に開会する予定です。会議の日程等は変更されることがあります。詳しくは、ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

※手話通訳が必要な場合は、本会議開催日の7日前までにご連絡ください。

※上記の定例会で審議を希望する請願については、6月1日までに提出してください。

加古川市議会事務局 ☎427・9303 ㊚424・9043 ホームページアドレス www.city.kakogawa.lg.jp

新年度予算

平成28年度一般会計をはじめ、各会計予算は、3月14日から16日までの3日間に所管の各常任委員会で審査され、活発な質疑が展開されました。最終日の本会議で、各常任委員長から審査の結果が報告され、審議の結果、各会計予算は、すべて原案のとおり可決されました。

総務教育常任委員会

一般会計（全会一致）

市民からの寄附状況は

スクールアシスタントの配置基準は

総務費のうち、総務管理費におけるふるさと納税推進事業3873万8000円に関連して、加古川市民からの寄附状況と今後の方針を質問したのに対し、総務部から「市民からの寄附状況は、寄附金の15割程度となっている。今後も全国的に人気のある、ふるさと納税ポータルサイト『ふるさとチョイス』に新たな情報を掲載することや、地場産品や『加古川和牛まるごと一頭』など特色ある記念品を加えることにより、本市の魅力発信し、ふるさと納税をさらに推進するものである」との答弁がありました。

福祉環境常任委員会

一般会計（賛成多数）

総合福祉会館の大規模改修の方針は

民生費のうち、社会福祉費における総合福祉会館大規模改修工事費2億7000万円について、改修の方針と改修後の利用予定年数を質問したのに対し、福祉部から「改修については、障害者差別解消法との整合性を図り、各種団体とも協議をしつつ、現在ある施設の不具合の解消を目指していきたい、少なくとも今後15年間は利用できる施設改修をしていきたい」との答弁がありました。

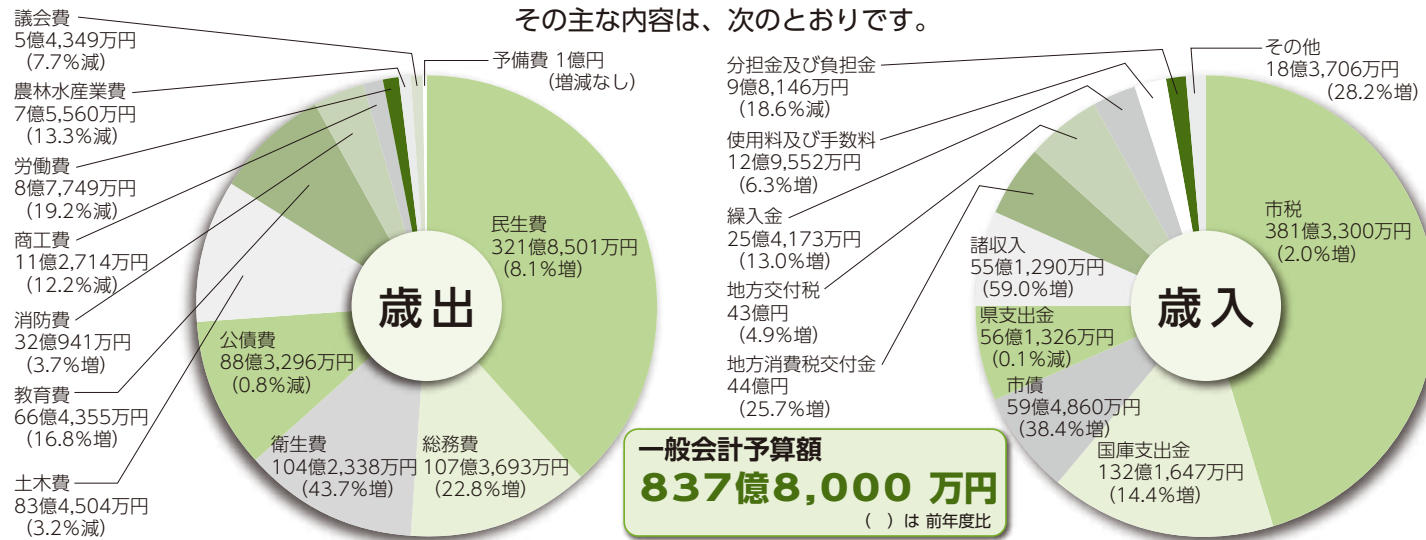
建設経済常任委員会

一般会計（賛成多数）

給食における地産地消の推進は

農林水産業費のうち、農業費における学校給食地産地消推進事業375万6000円について、使用食材の拡大見込みを質問したのに対し、地域振興部から「最もブランド力のある加古川和牛を提供することで、まず地元産食材について興味を持ってもらうことからスタートし、今後、安定した供給方法について関係機関と調整を図りながら、地元野菜等も提供していきたい」との答弁がありました。

3月25日の本会議最終日に、平成28年度一般会計予算に対する討論が行われ、各会派から態度が表明されました。その主な内容は、次のとおりです。



賛成 創政会

新年度予算は、過去最高額となる積極的な予算編成がされている。創政会として、要望してきた不妊不育症治療助成事業で、悩んでいる夫婦に寄り添い、子どもを生み育てる環境が整備されることに対し、大いに期待をする。ただ、総合福祉会館大規模改修においては、施設の効率的な運営や、利用者増への手法や広報など、有効利用について検討し、文字通りの「総合福祉」に資するよう強く要望する。

賛成 志政加古川

新年度予算は、地方創生の観点から、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進する予算編成となっている。特に、災害への備えについて、VILLOWマルチメディア放送を活用した効果的、効率的な情報伝達手段の早期構築への取り組みや給水用水槽の整備、防災井戸の設置、AEDの設置拡充を評価するものの、防災士の資格支援においては、その活動内容や現状に関し、さらに踏み込む必要がある点は課題が残る。

賛成 公明党議員団

新年度予算に対する、公明党議員団の要望として、中学校給食の全校実施が、平成34年では、あまりにも遅く感じられるため、補正予算対応も視野に入れた取り組みでもらいたい。また、新年度から、「子育て世代包括支援センター」が設置され、歓迎するが、母子保健や育児に関する切れ目のない相談支援や待機児童解消に向けた、さらなる施策の推進を期待する。

賛成 新市民クラブ

新年度予算においては、新市民クラブが以前から提言を行ってきた、ふるさと納税の拡充、こども医療費助成制度の継続、ボランティアポイントシステムの創設、日岡山公園の整備と権現総合公園の今後の整備に向けた民間活力導入の検討、そして、保育所整備事業、児童クラブ整備事業及び中学校給食準備事業が予算化されていることは高く評価する。予算執行にあたり、以下を要請する。

まず、本市が子育て世代に選ばれるまちとなるためには、独自の特化した施策が必要である。

次に、ごみ減量化推進事業については、有料化ありきではなく、出来る対策を積極的に進めてもらいたい。さらに、公共交通プラン策定事業においては、地域のニーズに応じたきめ細やかな検討をしてもらいたい。各施策の達成はもとより、より一層の効果を目指し取り進むことに期待し、本案に賛成する。

代表質問

3月4日に行われた代表質問では、4人の議員が壇上に立ち、会派を代表し、質問を展開しました。
主な内容は、次のとおりです。

子育て世代包括支援センターの地域設置について

創政会
中村 亮太 議員

議員 「加古川流ネウボラ」においては、子育てについて相談できる場が地域ごとであり、市役所本庁には各地域の状況把握や、子育て基盤・教育基盤・保健基盤を水平統合し情報共有、施設や病院との連携という司令塔的役割を担うことが理想であると考えています。

「子育て世代包括支援センター」を今後、地域の公民館など身近な場所に設置することについての考えはどうか。

市長 市民にとって身近な場所に「子育て世代包括支援センター」を設置するためには、「妊娠期から子育て期にわたる母子保健や育児に関する切れ目のない相談支援」を一環

予算編成における事業評価の取り扱い／次年度からの公開事業評価のあり方
○公共施設の最適化と複合化について
○「加古川流ネウボラ」について
子育て世代包括支援センター
○中学校給食について
早期実現
○シティプロモーションについて
シティプロモーション係の狙いと観光課との関わり／シティプロモーションの人材登用
○職員のワークライフバランスとモチベーションアップについて
職員のワークライフバランス推進／職員のモチベーションアップ

犯罪を絶対に許さない覚悟について

志政加古川
松本 裕一 議員

議員 市民が安心して暮らしていくため、犯罪を起こさせないまちづくりの推進はもちろん、犯罪者を絶対に許さないという強い意志を示し、市

民の生活を守ることを何より優先するという市の覚悟が重要と考える。今後、ICTを活用した様々なネットワークの構築を、行政が主体的に責任を持って進め、最先端のセキュリティ機能を持つ防犯先進都市を目指していただきたいと考えるがどうか。

市長 防犯カメラの設置については、県の補助制度を活用し、積極的に取り組んだ結果、平成27年度末で合計245台の設置となる見込みである。また

新年度より、従来の制度に加え、補助の上乗せを予定しており、地域団体が1台でも多く設置できるよう取り組んでいく。また、他市では、行政が市民のプライバシーに一定の配慮をしつつ、通学路を中心に防犯カメラを設置し、地域無線ネットワークと接続すること、犯罪等の早期解決

や再発防止につなげようとす

る動きもある。このような先進事例を調査研究しつつ、最先端のICTを活用するなど、市民の皆様が安全で住みやすいと実感していただけるよう取り組んでいく。

その他の質問項目

○市民の生活を守り安心して暮らせるまちを目指す覚悟につ

た場合、さらに事業スキームの検討を進め、平成30年度には事業者の選定を行いたい。

その他の質問項目

○市長の市政運営について
施政方針の基本的な考え方／市政運営の基本的な考え方等／健康寿命の延伸など

○加古川中央市民病院と市民病院の跡地活用について
独法導入の評価と反省及び新病院建設の目的の達成／マンパワーの確保と東西のマンパワーの融和／財政面／アクセスと交通渋滞対策及び地震や風水害対策／東西市民病院の跡地活用

○教育環境の整備とスポーツ・文化の振興について
良好で快適な教育環境の整備／スポーツ・文化の振興

○観光振興について
観光振興の取り組み／加古川60選等と高御位山、工場夜景を活かしたまちづくり／地場産品の販売促進

○日岡山公園と権現総合公園の整備について
アスレチック等のある公園整備／神話を活かした、日本武尊を活かしたまちづくり

○シティプロモーションについて

いて

V・LOWマルチメディア放送の活用／多機能防犯灯（スマートタワー）の活用／ICTの活用と地域無線ネットワークの構築／安心して暮らすための災害に強い都市基盤整備（本市の総合治水対策）／犯罪被害者の人権課題の解消（犯罪被害者等の支援）

○次代を担う子供達が快適に学べる環境づくりに向けて
加古川市の小中学校給食の今後／中学校給食開始に伴う設備改修の圧縮と普通教室へのエアコン設置／小中一貫教育への取り組み

防災士と自主防災組織との連携について

公明党議員団
相良 大悟 議員

議員 災害への備えについて、自助共助を高める地域力の強化が必要であると考えているが、町内会、自治会と自主防災組織の現状及び防災士との連携はどうか。

市長 現在、町内会の9割以上の296団体が自主防災組織を結成している。自主防災組織の中には、南海トラフ地震を想定した訓練や災害用井戸の

シティプロモーションの推進／シティプロモーションの施策／ふるさと名物応援宣言／シティプロモーション自治体等連絡協議会への加入
○国道2号4車線拡幅対面通行化と播磨臨海地域道路について

国道2号4車線拡幅対面通行化／播磨臨海地域道路
○連携中枢都市圏・ゼロ予算事業・中学生議会・ホテル誘致について
播磨圏域連携中枢都市圏／ゼロ予算事業の評価と反省、28年度予算での取り組み／中学生議会への対応／ホテル等の宿泊施設の誘致



▲権現総合公園キャンプ場

○「地域包括ケアシステムの構築」について
地域包括ケアシステムの構築に向けての所見／介護予防事業の進捗状況／「認知症初期集中支援チーム」設置の進捗状況／地域包括支援センターの増設への対応
○（仮称）「手話言語条例」制定について
条例制定で進められる取り

日岡山公園と権現総合公園の整備について
新市民クラブ
畑 広次郎 議員
議員 日岡山公園について、子供たちの夢を育む公園に向けた再整備への考え方とスケジュール及び周辺のまちづく

り構想策定の考え方はどうか。また、権現総合公園については、民間活力を含めた再整備が必要と考えるが、具体的な事業推進の考え方はどうか。

○「子育て世代包括支援センター」の設置について
「子育て世代包括支援センター」の内容
○災害の備えについて
新たな情報伝達手段の早期構築への取り組み／防災士などの人材育成の取り組み
○魅力あるまちづくりの進め方について
「子育て世代に選ばれるまち」としてのブランド力を高める取り組み／シティセ

ールを進めるための機構改革の所見
○「公共施設等総合管理計画」に基づく今後の対応／市債残高の現状と今後の償還見通し／今後の財政健全化比率等の見直し
○「地域包括ケアシステムの構築」について
地域包括ケアシステムの構築に向けての所見／介護予防事業の進捗状況／「認知症初期集中支援チーム」設置の進捗状況／地域包括支援センターの増設への対応
○（仮称）「手話言語条例」制定について
条例制定で進められる取り

一般質問

3月7日と8日に行われた一般質問には、11人の議員が壇上に立ち、市政全般にわたり、質問を展開しました。
主な内容は次のとおりです。

新中学校給食センター建設 に関する業者選定について

松本 裕之 議員

議員 日岡山公園隣接地における新中学校給食センター建設のスケジュール、設計業者選定方式と時期についてどうか。また、設計事務所と厨房機器メーカーのどちらを先に選定するのか。

教育総務部長 現在、建設・運営手法は、公共が主体となる従来方式を基本とするものの、民間が主体となるDBO方式の可能性についても検討している。従来方式を採用した場合、平成28年度に主食を含めた献立や使用する食器の検討、建設に係る整備方針の策定を行う予定である。そして、日岡山公園再整備のため

の、まちづくり構想が策定される予定であり、その後、基本設計、実施設計、建設工事へと進めていきたいと考えている。業者の選定期間は、設計を実施する当該年度または履行期間によっては前年度になる。従来方式の場合に設計事務所と厨房機器メーカーのどちらを先に選定するのかについては、現在、調査研究を行っている。

その他の質問項目

○新中学校給食センター建設について

学校給食衛生管理基準HACCPCP（ハサップ）等

信号機設置に向けた取り組み 内容と見通しについて

渡辺 征爾 議員

議員 JR加古川駅の東側に

ードバンクや子ども食堂への支援

新市民病院の開設後、 周辺の交通対策について

山本 一郎 議員

議員 新市民病院の周辺道路は、多くの学生の通学路となっているが、現状で認識している危険箇所及びその対策はどうか。また、公共交通機関の利用促進が事故抑制の一助となると考えるが、加古川駅から病院へのアクセスをどのように考えているか。

企画部長 周辺道路の危険箇所については、寺家町3号線

市民団体を活用した 空き家・空き地の 利活用について

井上 津奈夫 議員

議員 平成25年度策定の「加古川市空き家・空き地問題に関する土地利用の活性化に関する方針」には、空き家の管理を促す取り組みとして、「空き家・空き地を管理する民間企業の登録制度の検討」がある。このことについて、子育て世帯の定住促進や住宅困窮者への提供など様々な活用を想定し、民間企業だけでなく、NPOやボランティア等の市民団体も空き家管理団体として登録する制度を検討すべきと考えるが見解はどうか。

都市計画部長 民間企業や市民団体の意見を生かし、空き家・空き地活用の可能性を探ることは、定住促進の呼び水になるとともに、ずっと住み続けたい夢のある街づくりにつながると考える。今後は、空き家バンクの掲載情報を広く公開し企業や市民団体等とも情報交換をしていきたい。なお、NPOや市民団体の登録制度については、今後、民間団体等の活動状況を踏まえ、調査研究していきたい。

その他の質問項目
○分かりやすい道路交通環境を確保することについて
市道における信号機付交差点に地点表示板を設置すること

子どもの無料学習支援や ひとり親への交流の場の 提供について

落合 誠 議員

議員 子どもの貧困対策とひとり親家庭の支援策として、子どもの無料学習支援やひとり親の交流の場の提供等への取り組みはどうか。

教育指導部長 現在、一部の公民館ではスタディールムとして地域ボランティアの指導のもと学習支援活動を実施している。小学校での放課後子ども教室については、拡充計画を策定し、学習支援も含めた子ども居場所づくりを進めていく。

また、県が進めている学校支援活動や放課後子ども教室等の個別の活動を総括した「地域学校協働本部」については、本市としても関係機関と連携

と寺家町商店街通りの交差点及び寺家町3号線と寺家町4号線との交差点等が地域住民から指摘されている。その対策として、道路の線形改良や交差点のカラー舗装等の整備を行うほか、案内看板や交通誘導員の配置など円滑な交通誘導と安全性の確保に努めたい。また、新市民病院への交通アクセスについては、JR加古川駅からのシャトルバスの運行を予定しているほか、西市民病院跡地周辺からの交通手段についても検討しているところである。

その他の質問項目
○「公開事業評価」は、本当に必要ですか？

市内浄化槽の法定検査の 受検率約51%の現状について

岸本 建樹 議員

議員 市内に設置されている浄化槽全体で、年1回の法定検査受検率は約51%となっている。排出されている浄化槽の水質管理についての考えはどうか。

環境部長 法定検査の未受検者に対しては、文書を送付し法定検査を促進しており、今後も引き続き受検するよう指導していく予定である。また、

平成27年度からの浄化槽設置補助制度の拡充により、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図るとともに、浄化槽維持管理費補助制度の創設により、地域の公共用水域の水質改善を進めている。その結果、浄化槽設置補助対象区域における、設置補助制度を利用した単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換申請は42件あり、一定の成果があったと考える。

その他の質問項目
○東・西市民病院での医療方針について

平成28年7月1日以後の東・西市民病院跡地活用方針／地域包括ケア病棟を求めること
○環境を守る為に浄化槽の排水管理を市で行う事を求めることについて

浄化槽保守点検の受検率の把握が出来ていないこと／平成27年度の浄化槽設置と水質管理の状況／合併浄化槽の管理を公共で行う事を求めること

いのちの 有料化について

高木 英里 議員

議員 平成34年までの20%の

可燃ごみ減量化目標に向け、有料化も検討していくとのことだが、有料化がごみ減量の真の問題解決になるのか。有料化についての考えはどうか。

環境部長 ごみ有料化については、全国で63%の自治体があり、県下では29市中13市が導入している。指定袋購入による有料化は、廃棄物の排出抑制や資源化可能なごみの分別が進むことから、ごみ減量化につながる代表的な施策であると考えている。すでに有料化を実施している自治体では13%から14%程度の減量効果が出ている。本市においても、有料化を導入すれば、排出量の減少、資源化率の上昇が見込めると考えるが、市民に新たな負担を求める制度であることから、様々な減量化施策の効果を見極めたうえで、慎重に判断すべきと考える。

その他の質問項目

○障がいのある無で分け隔てしない社会の実現について

勤労会館等の公共施設のエレベーター設置／精神障がい者も交通運賃割引の助成を求めること

○ごみ処理広域化とごみ減量化について

ごみの分別



▲平成28年7月1日に開院予定の加古川中央市民病院

中学生に対しての 学習支援について

白石 信一 議員

議員 文部科学省では、経済面も含めた家庭環境の問題などで勉強が遅れがちな中学生への学習支援の一つとして、「地域未来塾」を推進しており、全国的に2000校区で実施されている。これは、中学校の空き教室などを利用して、土曜日や平日の放課後に学習の時間と場所を確保し、大学生や教員OBなど地域のボランティアが支援員として活動を推進するものである。本市にも「地域未来塾」の創設を提案するがどうか。

教育指導部長 本市においては、学校の授業だけでは学力の定着は難しいと考え、平素より補充学習に取り組むとともに、長期休業中にも補習を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着を図っている。

さらに、夏季休業中に公民館を利用して学習に取り組んだり、地域のボランティアによって学習支援を行う活動が始まっている。今後、長期休業中や放課後等を活用した地域ボランティアによる学習支援をさらに充実させるとともに、

関係機関と連携をはかりながら、「地域未来塾」のような学習支援のあり方について検討したい。

○その他の質問項目
○子どもの学習支援事業について

学校をプラットフォームとした子どもの貧困対策／「子どもの貧困対策実施計画」策定

○投票しやすい環境づくりについて
期日前投票時間の設定／高齢者に対する投票環境の改善

子ども医療費の充実に向けた今後の取り組みについて

松崎 雅彦 議員

議員 中学3年生までの通院、入院費を無料化するなど、県内自治体の子ども医療費負担軽減の拡大状況を受け、本市は、今後どのように取り組んでいくのか。

市民部長 平成27年7月に、小学校4年生から中学校3年生までの通院医療費の助成について、1医療機関、薬局ごと月に2回まで1日400円を上限とし、3回目以降は無料とする定額負担へと制度を拡充している。今後、国庫補助金

の減額措置の見直しによる財源確保の見通しがついた時点で、県下各市町の動向や、本市における他の子育て支援策の取り組み状況などを勘案し、助成制度の拡充について検討していきたい。

○その他の質問項目
○子ども・子育て支援施策の充実について

子ども・子育て支援計画の量の見込みと提供体制の確保／子ども医療費の県内の自治体の充実の状況

○公共施設への再生可能エネルギー導入状況と電力料金削減に向けた取り組みについて
市役所等公共施設への再生可能エネルギー等の導入状況／今後の再生可能エネルギー等の導入の取り組み／公共施設の電力料金削減に向けた、新電力への切り替え

教科用図書出版会社による謝礼問題における

文部科学省からの通知について
西村 雅文 議員

議員 教科用図書出版会社が、開示が禁止されている検定中の教科書を教員等へ見せ、編集内容について意見を聴き、謝礼を渡していた問題について

本会議の概要

提出された議案62件のうち、議決された主なものは次のとおりです。

条例・単行

●加古川市介護慰労金支給条例の廃止 (賛成多数)

地域密着型サービスの創設等による介護保険制度の充実に伴い、介護慰労金支給事業を継続する必要性が無くなったため、条例を廃止するものです。

●加古川市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正 (全会一致)

人事院勧告に基づき、市議会議員の期末手当に所要の措置を講ずるほか、加古川市特別職報酬等審議会の答申を受け、市議会議員の報酬額を減額改定するものです。

●加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正 (賛成多数)

一般廃棄物処理にかかる手数料を改定するもの

で主な内容は次のとおりです。

事業系ごみにあつては、10キログラムごとに130円とする。

家庭系ごみにあつては、200キログラム未満を無料とする基準を廃止する。

●地方独立行政法人加古川市民病院機構第2期中期計画の認可 (賛成多数)

第2期中期目標を達成するため、市民病院機構が策定した第2期中期計画を市長が認可するに当たり、承認するものです。

●加古川市斎場の設置及び管理に関する条例の一部改正 (賛成多数)

霊柩自動車の運行業務を廃止することに伴い、所要の措置を講ずるため、条例を改正するものです。

●加古川市債権管理条例の制定 (賛成多数)

市の債権管理の適正化を図り、もって公正かつ円滑な行財政運営に資するため、市の債権管理に

人事

関する事務の処理について必要な事項を定めるものです。

次の人が人権擁護委員に推薦されることに同意しました。

- 人権擁護委員(敬称略)
樽本 敏郎(尾上町)再任
- 松浦 博之(西神吉町)新任
- 柳谷 佐代子(平岡町)新任

第1回市議会定例会における議決等の件数

区分	予算	条例	単行	人事	合計	請願
市長提案	24	27	8	3	62	9
議員提案	-	-	-	-	-	
合計	24	27	8	3	62	

番号	件名	議決結果
第1号	加古川市立勤労会館にエレベーターを新設してほしいことについて(請願)	不採択
第2号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願	不採択
第3号	後期高齢者医療制度の保険料の軽減特例の維持、継続と、保険料の引き下げを求める請願書	不採択
第4号	子どもたちの教育環境の整備・充実を求める請願書	不採択
第5号	市内全域に公共下水道整備を求める請願書	不採択
第6号	市による合併浄化槽の水質管理を求める請願書	不採択
第7号	安全保障関連法の廃止を求める意見書採択について(請願)	不採択
第8号	労働基準法等の一部を改正する法律案の廃案を求めることについて	不採択
第9号	加古川市の放課後児童健全育成事業の環境改善のための請願	採択

議会インターネット映像配信

平成28年度第2回定例会から、本会議の様子はインターネット上でライブ中継します。過去の定例会の代表質問及び一般質問の様子は録画配信しています。詳しくはホームページをご覧ください。

市議会 会議録検索システム

インターネットにより、平成13年3月から平成27年12月までの本会議(定例会・臨時会)の会議録が閲覧・検索できます。詳しくはホームページをご覧ください。

て、文部科学省から各都道府県教育委員会に対し資料(謝礼を受け取った者の氏名等)が提供され、3月中旬に調査するよう通知されている。本市ではどの様な調査を行っているのか。また、今回の謝礼問題に関しては、他の業界で同様の事例があった場合に比べ、処分も軽く、対応に明らか違いがあると感じるがどうか。

教育指導部長 兵庫県教育委員会からの調査依頼に基づき、関係教職員に対し、個別に面談による聞き取り調査を行った。その調査結果については、県の指示に従い、すでに報告を終えている。処分等、今後の対応については、県の方針に基づき進めていきたい。

○その他の質問項目
○教科用図書出版会社による謝礼問題について

問題全般／兵庫教育長の答弁／尼崎の事例／採択の公平性の確保(再発防止)

日岡山公園の周辺道路整備と公園内の自転車道路設置について

稲次 誠 議員

議員 日岡山公園内は基本的に車両通行禁止のため、自転車利用者は、公園外周道路を利用しているが、段差の大き

い側溝があるなど非常に危険である。今後、公園の整備により、利用者の増加が見込まれるが、公園内への自転車道路の設置など何か対策はあるのか。

建設部長 歩行者や自転車等の安全確保及び日岡山公園と加古川刑務所西側の公園駐車場の一体利用を図るため、市道石守溝之口線の道路線形の改良や自転車歩行者道の設置を検討しており、今後は関係機関と協議しながら道路詳細設計を実施していく予定である。なお、公園内においては、利用者の安全確保のため、自転車の乗り入れは原則禁止とするものの、周辺道路の整備に合わせ、自転車歩行者道を設置することで利便性や安全性が向上するものと考えている。

○その他の質問項目
○子どもたちの夢をはぐくむ公園、日岡山公園の再整備について

日岡山公園の現状の課題と理想像及び再整備計画／ボランティアの参画

○加古川市の歴史的財産の活用について
歴史的財産のPR方法／古墳など史跡の管理